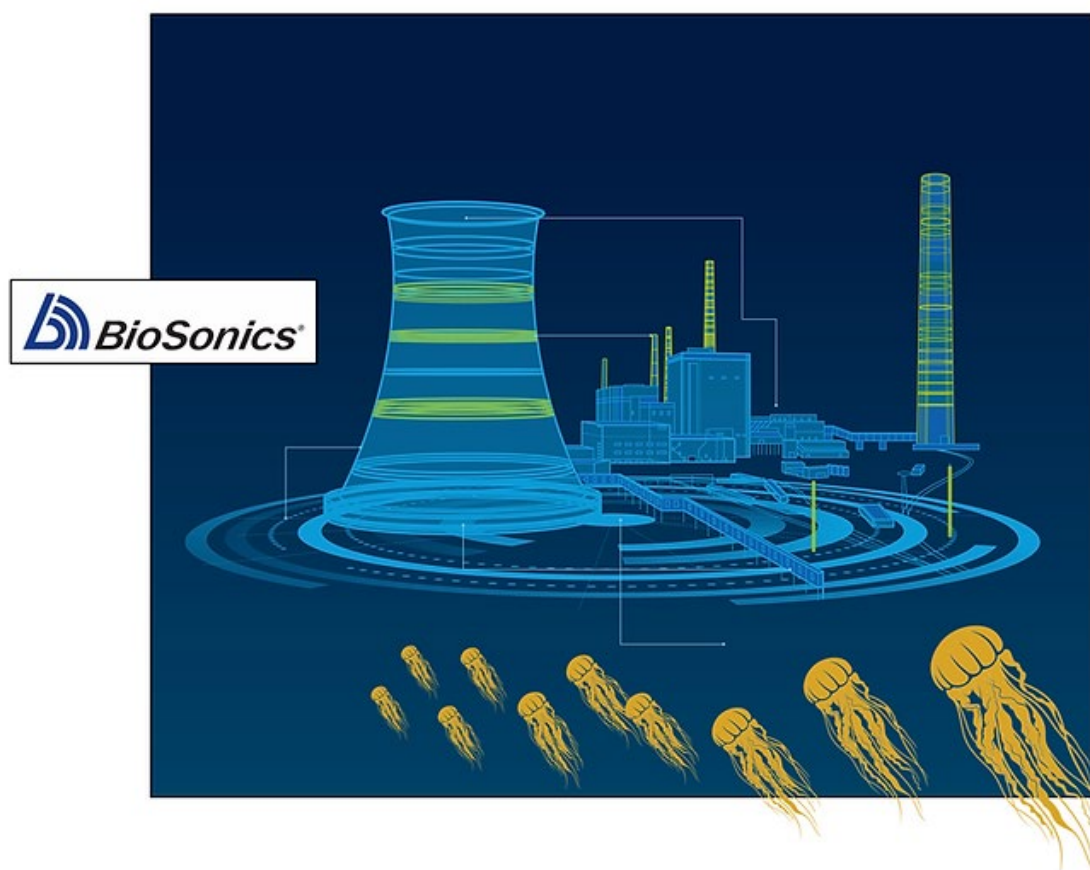


BioSonics 社、発電所を守る契約を締結

2022 年 12 月 1 日

～クラゲ侵入の早期警告を行う特殊ソナーシステム～

BioSonics, Inc. (本社：アメリカ シアトル) は、韓国水力原子力発電株式会社 (Korea Hydro & Nuclear Power Co., Ltd. (KHNP)) に自動ソナー技術を提供する契約を締結しました。このプロジェクトの目的は、クラゲの侵入を発電所のオペレーターに自動的に警告するソナーを使った早期警告システムの開発です。最終的には、チョンナム大学、GeoSystem Research Corporation (GeoSR) と連携した大規模研究プロジェクトとして、ブイに搭載された複数のソナー装置が KHNP の発電所に配備されます。



クラゲの大群が突然出現し、取水口を塞いでしまう現象が頻発しています。クラゲの大群が発生すると、ひどい場合、発電所が停止し、大規模な清掃や復旧作業が必要になります。停止期間が長引けば長引くほど損失が大きくなってしまいます。



クラゲ探知にソーナーを使用することはよく知られていますが、BioSonics DT-X AMS 技術は、リアルタイムの警告／報告のための自動処理機能とともに長距離探知機能を備えています。

効果的な早期警告システムがあればクラゲが到達する前に取水口から遠ざけるなど、プラントオペレーターが先手をうち、シャットダウンの回避に役立ちます。

KNHP の受注は、韓国・釜山で開催された 2022 年アジア水産音響学会（AFAS）会議で発表されました。AFAS の会議で、BioSonics の科学者、JB Jung 氏は、主席研究者であるチョンナム大学の Doojin Hwang 博士と会い、最終的な詳細を話し合いました。Hwang 博士は、クラゲ研究のための科学的ソーナーの使用について多くの論文を発表しており、BioSonics 社 DT-X エコーサウンダーの長年のユーザーでもあります。

元情報（英語）

<https://www.subsea2020.com/post/biosonics-awarded-contract-for-nuclear-plant-defense>

「DT-X Extreme ポータブル・デジタル計量魚群探知機」製品情報

https://www.toyo.co.jp/kaiyo/products/detail/BIS_dtxextreme